

「びえい冒険キッズ」

★事業の概要★

事業のねらい

美瑛町の子供たちが、国立大雪青少年交流の家を拠点に町内の人材の協力のもと、地域の自然を生かした活動を行い、美瑛町のよさを発見する。

公民館と協働で事業を行うことで、運営及び指導のノウハウを交流し、指導者の資質の向上を図る。

期 日

平成26年8月8日（金）～8月9日（土）

会 場

国立大雪青少年交流の家

対 象 者

美瑛町の小学校 1 年生～3 年生

参加者数：参加募集人数

25名：20名

講 師

国立大雪青少年交流の家職員
美瑛町公民館職員
村上健一氏（（有）大創ホーム）

日 程

8月8日					13:45 到着受付	14:00 はじまりタイム	14:10 仲間づくり ネイチャーゲーム	14:50 テントを立てよう	15:50 クッキング	18:30 夕食休憩	19:30 ファイヤー ストーム	20:30 就寝準備	21:00 就寝
8月9日	6:00 起床	7:00 朝食準備	7:30 朝食	8:15 テントの片付け	9:40		10:40 ハイキングとクラフト	11:00 さよならタイム	出発				

★プログラム紹介★



活動①「仲間作りとネイチャーゲーム」

子供たちの緊張をほぐすため、ボランティアとともに様々な仲間づくりゲームを行い、交流を深めた。



活動②「テントを立てよう」

ダンボールを敷いたり、テントを広げたり、ペグを打つ、ひもを張る等、ボランティアの支援を受けながら自分たちでテントを立てた。



活動③「クッキング」

米をとぐ、野菜を洗う、刃物を使う、食器を用意すること等に取り組んだ。刃物の使い方をボランティアから、火の扱い方を地域の方から教わり学んだ。



活動④「ファイヤーストーム」

地域の方の協力を得て用意したファイヤーストームで、火の燃える音を聞いたり、火の怖さも体験することができた。また、木や火のことを地域の方に質問するなど知識を深めた。



活動⑤「テントのかたづけ」

ボランティアのサポートを受けながら、テントを片付けることができた。



活動⑥「クラフト」

地域の方から提供された木材を使用し、かなづちで釘を打つ等の活動を行った。作った作品を写真に収め、それをポストに入れることで、今回の思い出を自分に送るというまとめの活動となった。

企画・運営のポイント

美瑛町公民館との共催事業として開催し、ボランティアを町内の人をお願いする等、美瑛の子供たちを美瑛の人たちの手で育てることを意識したプログラム構成にした。

低学年のキャンプとして、たくさんの経験をしてもらうために様々なプログラムを用意した。

事業を終えて(成果と課題)

アンケート結果から、体験活動を多くしたプログラム構成や活動について子供と保護者から好評価を得ることができた。

低学年を対象とする場合、できるだけ子供たちに目が行き届く体制を作ることが課題である。また、今回のボランティアが高齢者であり、子供たちの活動を丁寧にサポートしてくれたが、年齢と状況を照らし合わせてボランティアにとって無理のない活動内容を計画することが課題である。

今後の方向性

美瑛町民による美瑛町民のための事業として、ボランティアを美瑛の高校生や地域の方々に広げることによって継続して取り組んでいく。

参加している低学年が将来的にボランティアに育っていくことを目標としたい。